



第9話 「ブレーメンの音楽隊」裁判



被告人 **ロバ**

事件の争点

年老いて働くことができなくなったロバは、主人から始末されそうになった。逃げ出したロバは、音楽家になるべくブレーメンを目指した。その途上、同じく高齢のイヌ、ネコ、オンドリと出会い、意気投合。いっしょにブレーメンを目指すことに。数日後、盗賊たちの家を見つけたロバは、仲間をけしかけて襲撃。暴行を加え財産を奪った。そして、逮捕されるまでの1ヶ月間、家を不法に占拠し続けたのである。

強盗致傷の罪を認めるロバ。弁護人は、動機や犯行に至るまでの境遇に同情の余地があると主張し、情状酌量による執行猶予を求めた。ロバを刑務所に送るか？それとも、執行猶予にするか？



裁判員の考える判決



裁判員 **田村まどか** (優希美青)

私は、ロバを刑務所に送るべきだと考えます。なぜなら、結果、人が1人亡くなっているからです。ロバに殺す気がなかったとしても、尊い命が奪われてしまった事実は消えないと思います。また、仲間をだまして犯罪を犯したという点も、私にはどうしても引っかかってしまいます。何も知らないで犯罪に加担させられたイヌ、ネコ、オンドリに、少しでも申し訳ないという気持ちがあるのなら、ロバは刑務所に行き自分が犯した罪をしっかりと償うべきだと思います。盗賊一家も服役し罪と向き合っているのに、ロバも自分の犯した罪と向き合うべきだと思います。